

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	25 東京都台東区立せんぞくデイホーム	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地]	台東区千束3-28-13
	[規模]	延べ床面積 6,733.87㎡のうち755.5㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階のうち5階の部分
(3)	[委託事業]	①認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 認知症対応デイ：12名）
	[自主事業]	自主事業は行っていない。
(4)	[利用者]	要支援・要介護と認定された高齢者
	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間]	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制]	7名 （内 訳）生活相談員（2）、ケアワーカー（短1）、看護師（人材派遣1）、その他（アルバイト3） （前年増減）看護師（常勤-1、非常勤+1、アルバイト+3）

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料（指定管理料）	11,586,000	5,932,203	11,586,000	11,586,000
	利用料金収入	28,411,000	34,800,950	31,176,000	33,785,633
	その他収入（ ）	0	0	0	0
	計	39,997,000	40,733,153	42,762,000	45,371,633
支出	人件費	21,551,000	26,732,967	23,036,000	32,362,242
	光熱水費	3,135,000	2,466,553	3,299,000	2,581,753
	維持管理費（委託料・賃借料）	8,609,000	7,373,883	8,865,000	7,488,169
	修繕費	1,054,000	0	1,000,000	264,654
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（ファイナンス・リース債務の返済支出）	5,648,000	19,159,750	6,562,000	3,854,275
	計	39,997,000	55,733,153	42,762,000	46,551,093
収支			-15,000,000		-1,179,460

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
開館日数	日	311	312	312	311
定員	人	12	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用率	%	73	65.4	73.7	69.3
利用者数	人	2,700	2,448	2,759	2,588

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

支出については、前年度より抑えられた、看護師のアルバイト増員等による人件費の増、及び利用者数減に伴う利用料金収入が減少により、マイナス収支の状態が継続している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関連法令の順守、事業計画書や収支予算書等の報告書提出等、適切な運営がされている。また、安全確保対応マニュアル・事故発生防止マニュアル等を整備し職員に周知する等、適正な管理運営がなされている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	利用者アンケートの職員の接遇に関する結果は概ね良好であり、利用者とのコミュニケーションが図られていることは評価できるが、利用者の特養入居等により利用率が下がっている点が課題である。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	建物内を定期的に巡回し危険個所の早期発見に努め、備品についても台帳を基に管理し、異常箇所があった場合は速やかに修繕を行うなど、適正に施設の維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者アンケートの施設に対する満足度は概ね良好であり、入浴サービス希望者の増加に対応できる職員の増員をする等積極的にサービス向上に努め、デイサービス事業者として適正な運営がなされている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	看護師のアルバイト増員等の理由で人件費が増となり、また利用料金収入が減収となったため、結果としてマイナス収支となっている。事業者として、支出と収入が均衡するような一層の取組が必要である。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (95 / 110点)	<p>【所見】 全体的に見て、マイナス収支や、利用者が減少した等の課題があるが、入浴サービスの枠を増やす等、サービス向上への継続的な取組みが継続的に、また満足度調査の結果も良好であり、概ね適正に運営されている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 看護師のアルバイト増員等の理由で人件費が増となり予算を超過しており、結果としてマイナス収支となっている。民間の事業者には施設のチラシを配布したり、ケアマネージャーと連携して認知デイにつなげる等、利用料金収入の増収を図り、プラス収支になるよう取組が必要である。</p>